

露國公使ウエルベル(續)

法官に望む

在京城日本法律學士、岩  
官閣下

首眉に接せざる事茲に久

の榮を辱ふし韓半島に於

産を保持する司法方針を

院長以下數名の法官着

法部の改革も將に其緒に

運たうの幸福何物か之これに如しかは

人格に於て歐米諸邦の法

の関へ渡りて官閣下着任  
紊亂せる賄賂の多寡によ

國蠻法廷を洗除し一革新

勞を謹謝し將來の希望を

に於て司法官の重鎮たる

する古の經典に通じ詞藻

くる直法司渡邊大審院長

對し韓國司法制度改革及

を述べるが如きは謙讓の

らる韓國司法部に於ける

聞せざる今日意見を陳述

俗を打破する爲め

る一、二の意見<sup>いけん</sup>を吐露<sup>とろ</sup>し

にんぎょう

慣習、人情、風俗に精通す

大なる關係を有するは合

風に一般の認むる所なれ

にして陰險なる志<sup>し</sup>想<sup>さう</sup>及<sup>き</sup>び

鹿<sub>カ</sub>有<sub>レ</sub>し偏狹猜疑變腹表<sub>ハ</sub>裏<sub>ニ</sub>

なれば慣習、人情、風俗に

眞の貴王者に法を適用す

過日法律新聞は論じて曰

外に孤立し社會の各方面之

全一冊

水火災海上運

ないで歸るような事は無いでせうか、何  
か私に安心で堪らないわ。」  
なまに、その場になつて断はるやうな男  
ら、少しは相談相手にもなる。だが、那  
意氣地のある男ぢやないさ……しかし、  
ふは言つたものゝ、この計へ日になつて  
の五十圓は、容易な事ぢやあ出来な  
られ、氣の毒は氣の毒……けれどもこ  
も可愛い前には替はられないと思つて  
分手、酷く言つて違つたさ。年は取つても  
切なもんだらう。」  
その親切に迷はされて、年にも恥ぢず  
聞になつたのだから、その位な事は當然  
……それと大變、れ酒が熱くなり過ぎた  
……先づた祝に一つた上もな……い、す  
前さんの好きな節の刺身を取寄せて置まし  
よう。」  
酒を取出すれば、男五郎は満足  
と云ひつゝ、



「こりや有難い、天は雪模様で戸外の寒い  
つたら、全て身を切られるやうだ。どれ熱  
いのと一杯飲らうかね。」  
と、杯を取上げれば、女は酌をする。  
「しかし、妙な事かられ前さんと斯處事情  
になつて了つたが、娘さんでも來たら何と云  
つたら可いでせうね。」  
「なまに、言譯なんか要るものか。私が病  
氣の看病に纏ひだと言つて置たら、若や  
娘でも來た時は、その意に胡魔化して置く  
ぞ。」  
「豈夫、れ前さんがその年になつて、女狂  
ひをするとも思はないでせうね。」  
「然うさ、鳴が死んでから永い間、女なん  
か見向も爲なかつたから、那機事は思はな  
いさ、まあ、心配しなくても大丈夫だ、  
私が注いで進るれ前も飲め、飲め……。」  
と、差つ、差されつ、樂しそうに酌交すの  
であつた。





統監の歸任に就て

統監の歸期に近づきぬ、回顧すれば昨秋俄に太子を擁して、漢城を去らるゝとき、在留國民の多くは新協約の表面に隠れて、辭令の巧みなる功、韓太子を誘惑せることが大なる成功の如くに思惟し、一齊歡呼して之を送り其行を盛にしたるき、統監自身も成功を誇るものも如く、意氣昂然として行程に上りたりき、馬關に上陸せられ東京に歸する迄、沿途の祖國國民も皮慰の東に驅れて盛に歡迎したるき、當時余輩は世論を反して善言を呈したるも、伊藤氏の華麗なる道行に酔ひたる世間は、更に顧る所なかりき、亦何等の反響もなかりき。

其時に到らば意外の方面に破産者續出して  
濟界は一時暗黒たる有様になり可申候  
▲恐慌の爲に破産者を生ずる迄に至るは  
國經濟界が内地經濟界の圈内に入りたる  
據に於て是の如く喜愛共に韓國は韓國  
と云ふ獨立的の許さざる事を説明致候  
▲茲に於て當地經濟界に處する人士も舊  
立式時代の如く無闇に不動產などを資本  
固定せし實の持腐りを爲さざる機心持  
たざる事と相成申候  
▲暴徒の存在さへ殆んど認めざりし御用  
京城日報が暴徒の處分を以て最重要の間  
と爲すに至りたるは聊か奇異に感ぜられ

在りては其の打撃を被る事最も甚しく今  
遂に積年の經營を棄てて其の根柢地を引  
替るの己むを得ざるに至れるは誠に絶大  
の憾事とす現に全羅北道宣山、三禮に絶  
大の農事經營者は露に暴徒の同地を來襲せ  
以來他に移轉し金浦道の礪山も亦事務所  
巡査駐在所所在地に移し事業は何れも殆  
ど中止同様の狀況なり加之木浦、梁山浦、  
州、鎭山、江基、全州、公州の如き比較的安  
なる地に在りても土地を所有せる者は多  
くは韓人に小作せしむるものなるが爲  
に其損失を招ける者頗る多く且是等の地  
に在りては韓人に金錢を貸附せる者少から

五、貸付金に利息を算入せしむるもの  
六、検封公金類  
七、租税徴収額に及ばしたる金額

約五千八百餘萬圓

四、各地の金融狀況

木浦 日本内地に於ける金融界の大勢に於ては、一般に銀行業者は驚愕して貨流の態度を取り前々年來土地熱盛んにして資金を固定せるため一般に逼迫を感ぜし折損決算期に際し日本内地の相慮思はしらずために玄米の庫入をなし又綿花の輸出荷爲等々に資金の需用を増強したるも幸一及び多額に達し能く其の調和を保つを得

の有様なり乎。安南、北道には土着の暴徒無  
時に黃海、道より襲來して討伐隊に擊退せ  
役に於てのみ軍師の活動を目撃し其の威を  
を自覺し居るの結果、日本に反抗するの意  
無く且つ地方の人士は王朝以來政權に遠  
り三南の地方に比して政治的思想の乏し  
に原因するなるべし故に此の地方は暴徒  
害も甚しからざるも基督教徒の勢力は偉  
に努め義州の如き最近に於て千名以上の  
者を増加せりと云ふ而して彼等は到る處  
學校を設け其の組織完全にして小學校より

の暴徒突然其の宿舎なる高巨里民家に襲來し發砲せし兩週査は直ちに應戰せしと衆義訴せし其一名は僅に現場を逃れ分署に急報せし他の一は在らば遂に敵陣に中し即ち死す同宿の商人一名も亦賊彈のため負傷せし此の事實は三月十三日咸興電報によりて略報せし所なるも土地遠隔にして交通不便なるため其の詳報漸く今に至りて手に入りやうものなり

●京城居留諸學校に就て  
民團立諸學校は本年度より第二小學校、京城居留民團は本年度より第二小學校を新設せしこととなりしを以て日の出陣に在る從來の京城尋常高等小學校

拾次郎氏は當地支店事務移引繼の爲の數日前  
着城せられたるが設置の爲め目下引籠中な  
りとの事なり

●木浦會議所の航路補助  
鐵所は木浦鎮南浦開港航路の定期運船に  
對し從來一航海に就き二十圓を補助し年額  
三百圓を支出し居たりしが本年三月にて其  
の契約期限満期となりたるに就き同所にて  
は今又向ふ五ヶ年間一航海に對し三十五  
圓の補助をすることに可決せりと云ふ

●日本郵船の北韓航路 北韓清津の開港に  
伴て大坂商船が大坂・元山線を延長すること  
は昨非難船の如くなるが日本郵船としても同

爾來半歲に亘り、新協約の缺點は顯れ、  
憲政治の失敗は眼前に發露し、嚮に謳歌  
たる世論は掌を轉するが如く、其失政を  
總攻撃するに至れり、從て余輩之苦言は  
の認むる所となれり、余輩は之を誇るに  
らざるも、少くとも伊藤氏輩國策の皮  
に恥惑せられざることを世人に諷認せら  
るを以て自ら慰むるのみ、  
更に追憶す、當時統監が意氣揚々歡呼の  
聲に應ずるに發露せらるるのみ、其政策に  
反對せし、一種の雅懷は胸臆に浮びにし  
そは古稱の老蚌或は是が永遠の別れにし  
歸任は到底期し難し、然らば花を持たせ  
も可ならんぞ、何ぞ圖らむ、半歲餘の歳

月るては聲れ世論  
願ふらくは此際、歩を進め暴徒黨分の論を其紙上に於て公にせられたき者に候。今回中村再遣氏が叙勲せられたるは陸軍省が氏を叙勲するに因て其正直を表致候者に御座り少なくとも彼等も戰役に至る何人の功勞をも無視せざることを表致候。

▲斯くあるこそ誰も軍に對して盡すこと盡し榮あることを感じ候者に御座候中に氏が盛大なる叙勳園遊會を開きたるは國民の爲に氣を吐きたる者に御座候

東京電報

スチーブンズ家に對し日本政府よりの

## ▲ス氏遺族の謝電

スチーブンズ家に對し日本政府よりの

説くは是又容易に督促する能はずして頗る  
 難を感じ居れる  
 暴徒の割は獨り日本人に止まらず韓人  
 豪士の其の害を被る者亦少からず現に高山  
 嶺山の如き不穩の地方の富豪は難を避け  
 全州江景等に來れる者あり殊に山村僻地  
 在りては米價非常に低著して農民の經濟  
 紊亂し思慮なき韓人等は又前途を悲觀し  
 瘡痍の心を嘆ひ憐れんとして殆ん其の業  
 入らせざるが如し今や氣節は春曉時種の  
 に入り向地方の秩序回復せずんば本年  
 於ける農民の困乏は其の極に達し慘狀日  
 當てられざるに至らん  
 三、徴稅上の困難  
 地方民は暴徒の剽掠と産業上に受けたる

困窮、富に於ては悲觀するべきものありと雖も唯幸に本年一月には居留地に於て學校の増築其他三大なる建築工事及び土工起るを以て留其の繁化の狀況を呈するべし内地韓人側の金金の恢復甚だ困難なるべし

全州、昨年八月頃より九、十月頃迄は全一時沈寂せしが其の後暴徒の漸く勢力が一時人心稍々平穩に歸したるの結果十一日

大學迄系統的に之を設立し中には特殊の  
育をなす學校すら設備し一般人民の信用  
博し居れり彼等は曩には布教の一手段と  
政府の政策に反對し日本の行動を批難  
する者有りし如くなるも現今に於ては公然  
の如き言行はなしと云ふ

朝鮮江の沿岸地方は日韓清三國人の競争  
域なるも由來清國人は勤勉にして苦勞を  
至す加之其の金利低廉にして年利四分  
至五百分なるに反し韓人は怠惰にして力行  
せず日本人は一攫千金を夢みて裏面目なる  
業に着手せず其の利用する資本は月利  
五分の高利に於て到底經濟上清國人どの  
手に堪へざるものゝ如し尙同江を上下す

第一小學校と改稱され南山本願寺下に在し分校は全く廢止され元第二尋常高等學校の假校舍に充てられ更に南大門保税路跡に第二小學校分校教室を設けられ四月四日より南校共學堂と稱せらるなり第二小學校は南大門保税會庫跡に新築の事を起され來る暑中休暇後には落成の達なり因みに第一小學校校長は河合精一氏にして第二小學校校長は横山彌三氏なり

●幼稚園 庚子紀念幼稚園は從來の樓が今更になり高等女學校附屬幼稚園を設けることなり庚子紀念幼稚園の方は既に開園せるも高等女學校幼稚園の方は來る十日頃より開始せりと云ふ

金盡する所ありて、命令航路の關係上目下厦門省に申請中なれば許可次第直に開始さるべしと云ふ。

●近事片々

○皇太子殿下四日御發營山口徳島兩縣下、行啓かへり玉ふ兩縣人民歡迎の可き事なり。

○昨年、來南船北馬路に韓國に迄渡らせし今亦行啓皇儲の御脚精投も艱有事にこそ。

○昨秋、御渡韓の際英委を拜し參らせたまふ、其民を愛で玉ふ御仁慈を遙に感佩有橘川若宮殿下薨去は吾韓臣民の痛哭哀痛に堪へざる所御父君の御歎き察せし哀痛。

○拓殖會社の外資輸入と聞くと計日を要要添田與衆との默契なしと計日を要要

は亦一の道行政策を案出されて、掉尾活動<sup>テイル・アクティビティ</sup>を爲さむ爲に來ると聞く。余輩をして腹藏<sup>ハラクラ</sup>なりと言はしむれば、衰廢の老練を煩<sup>ウツル</sup>さるゝよりも、有爲の適材に之を譲らざることを望みたりき、今年此希望も空しくり、亦もや老練を漢城に迎へる美策を有せとは、人事意の如くならざる十に八九と豈真ならずや。

統監歸任に就て、其發展に多大の希望とするものあり、且つ目醒まし神色の有する如く傳ふものもあるも、余輩は之を信ぜざる亦期待もせざる也、唯だ望む所は先づ間として統監自身の職責を鮮明にすることなり、純然たる韓國の攝政となることなり。

情を多とし、同氏遺族より鄭重なる謝電ありたり

### ▲米露交渉と我政府

東清鐵道敷設地内に於ける露國の行政施設に對し、米國政府より抗議中なるが日本此の事件に立入らざる方針なりと云ふ(六日發)

### 各地電報

#### ▲定山の衝突

二日午後七時四十分定山派遣隊伊藤茂吉以下五名定山郡イヌメンゾンジョウヨウにて賊約六十名と衝突し、交戦三十分、死傷不少、我に損害なし(六日天安發)

打撃によりて著しく疲弊を來し既に納  
の資力を失へる者多きのみならず暴徒は  
租税徴收に對して妨害を試み財務官吏の  
職務執行に危險を與ふは勿論良民を脅へ  
て租税を納付する者は直ちに一家を破壊  
せしと揚言し爲めに人民の納税を躊躇し  
者多く中には既に納付したる税金の還付  
請求する者さへ出で公錢領收員(韓人)に  
て遂に一部少額の返却を敢てするもの  
なきに至れるものありと云ふ特に近時局  
の兇暴は其の極に達し財務省以下公錢  
に襲撃し公錢を掠奪する者少からず官  
に公錢領收員に於ても徴税を躊躇し更  
に任を申出づる者多きに至り此の如き

より漸次貸出しを増加し十二月一月に入  
約十四萬圓の貸出を見るに至れりこは古  
して米・木綿・金巾等に用ひられたる者な  
地方の状況、農工銀行其他手形組合の如  
に於ても擔保物件の運搬困難なるを以て  
年上半期に比し其の貸出額減を示し、左  
融組合の如き小農を救済すべき事業なる  
拘らず地方不穩にして組合員の棄業意  
くならざるため全州の如き未だ貸出額  
に至らず己に業務を開始せる全南其の他  
方に於ても豫想の如き營業をなす事能  
る如し終

●窪谷警視の地方視察談

龔に京葉鐵道沿線地方を視察して歸京

船船は大部分清國のジャンギナに於て開く  
貨物に對し關稅を課し通行税を徴するに  
關沿岸は義州龍岩浦の外は關稅の收縮布  
ならず清國品は無稅にて韓國に輸入せし  
つゝありと云ふ此の二事に共に曉識せ  
經營上注意を要す可きものと信ず今日  
此の地方の韓民が飲用する酒類は多くは  
國製の燒酎にて其の輸入は頗る多額な  
如く而して之が製造原料は此の地方  
産せらるるものと雖も眞面目なる事業  
此の地方に其の醸造所を設くるは産業  
要にして且經營者に利する事多大なる  
寧邊一帶の地は金礦其の他の礦物に富

高等女學校、京城居留民團立高等女學  
 校、三箇校長も兼任し敎諭敎授も夫々任命  
 は内定し目下開校準備に急ぎ来る二十  
 頃には開校する豫定なりと

●通學區域、京城居留民團立の小學校、  
 二個となり幼稚園も二個となり従て居  
 地内の通學區域を二分する必要に迫られ  
 山町一丁目本町二丁目明治町一帯の線より  
 西部に屬する地域は第二小學校及び高等  
 學校附屬幼稚園の通學區域となり其れよ  
 り以東の地域は第一小學校及び庚子紀念幼  
 園の通學區域と定められたり

●ス氏の追吊會、來九日午後二時

朝鮮統監の主催にて南山町本願寺に於て

[illegible]

此問題に於て決するは、統監府の廢止は然に來るなり、在留帝國民の保護機關を定らむ、從來の如く日韓南北に渉る時たる政策は、到底持續すべからざるにあらざるの如く、統監府に於て失政の根源亦た茲にあり、統監歸任に望む所唯之れのみ、豈夫れ多きを期待せや、

●漢城便り

▲恐慌の暴風韓國經濟界に襲來すべきこと、は記者が半日前に於て豫告し、亦警告し、どこかに御座候而るに世は案外無頓着、記者の言などには耳を貸さざる有様なり、金融逼迫も今日の程度に達すればも歩にて大恐慌と相成候事無難之候

**●軍司令官臨檢** 龍山にて目下建  
工事となる兵營検査の爲め昨七日午前  
川軍司令官は石川副官を従へ臨檢した  
**●大臣會議** 昨日午後一時統監  
に定例大臣會議を開きたり  
**●參與官會議** 昨日午前十時三十分  
例の如く統監府樓上に於て參與官會議  
きたり

**●暴徒の經濟上  
及ぼせる影響**（續き）  
二、農業上の影響

目下三南地方は内地の單獨旅行は勿論  
日本人の在留は實に危険の状態に在り

なるを以て郵便局徴収の如きは全く行  
す全般に亘りて其の徴収額なる不良に  
務の如く一月中にては徴収額無なりし  
其の半額若くは少くとも三分の一は  
以前に納入済となるを例とするに拘ら  
年の納額は僅かに千圓以内に止まれ  
又公州にては例年に比し納入済額三  
一に過ぎずと云ふ如斯状態なるを以て  
部に徴収を委託せられたる驛田土其の  
田等の如きも收税者は其の地居仕の含  
るを以て特に困難なるべし今參考のた  
州管内に於ける地方財務に關する暴徒  
害件數を述べば左の如し

十

は、これに光を照らす。内務警察局長の窪谷警視を呼びて、警察官の氏に漆の如き美髯と撫しつゝ、徐ろつて曰く、余が今回の視察は地方警察勤務状態及び其の配置の適否等に地方出張の如く極めて短く、随ひ詳細に各地方の状況、向多少の暴徒出沒し農工商の發達に關する如く是等の暴徒は初め義兵と稱し、其の人員を數にして一般人民よりぞ敬拂はれ韓國の獨立を全ふるを以て其の如くせし如きも時伐隊に驅逐せざるを以て其勢を養ふと共に其時勢の如何とすべからざるを悟りて各自家に歸り今は僅かに火を解隊兵の衣食に窮せる者が小集團を

説を語に務め、其の意を以て今に至らん云々

○巡査死没の詳細  
咸鏡南道三水郡駐在所は本年一月賊徒襲來の際略殺せし一時民家に於て執務せしも單使の履行く少數の巡查にして到底執務不能に付鎮に引揚げ居りしも近時少しも賊勢衰るの觀ありしを以て三月一日韓人巡查派遣せられ邑内秩序の回復を計りつゝに四月六日賊徒の歸順を申告せしも

多數の國各大臣、大官、各局長、其他要親、總統、監所、官廳の高等官、及軍司令部、師團司令、各部、憲兵、各學校並に各國領事、宣教師等と會して、追會開催に就ては、須氏の生前の知己は隨會參列すべしとなり

五日、碑落成式、學會、●西南教育會總會、開き、左の事項を報又は決議す會する者四十九名前會々、及員氏名報告、會計報告、規則改正役員請對し處理の件等にして、右終て金光清は當時代は學校を設立し學識を發達せるときは、自然國富む國富むときは國民の幸福なり、蓋て予に諸君に向つて此會の爲めに盡さんことを希望す云

恩 隊 吊 忽に 役内 報告 後役 細に 妻に 来しむ 益々  
 何時 迄も 憂動せしむるは 双互の 不利 也 希望する所は 一刀兩断の 處置之 務急務  
 大韓 毎日 亦日人 何知と 題して 自説を 排し 問に 不當語に 落つと 此事也 唯失笑  
 嫌ふ にあらず 唯専心 韓國の 爲也之を とせば 言論の 自由なし と 吐く 豈子 餘之 難  
 果面 目に 日本 の 國外を 脱し 得らんと 得るのか 夫が 根本の 誤だ と 教める の である  
 統監 政治の 失敗 あらば 攻撃せよ と 教へ ではない 帝國に 弓を 引なと 叱る の だ 解た  
 武國 ウィット 伯 スラブ 民族 同盟と 結つ 大新 閣 閣 發行 の 計畫 ありと 其 發見を 待つ  
 露國 には 兎に 角 ウ 伯は 豪い 奴だ といふ 理の 時代 早晩 來ること 諸合 異くは 健在 五

東京電

▲有栖川若宮任官

有栖川若宮殿下は陸軍少尉に任ぜらる

▲一萬餘の助役に行賞

全國各市町村助役以下一萬六百六十に對し今日戰後經營の功に依り行賞たり

▲三池港の開港  
福岡縣三池港明日より開港の筈（七リ）

●韓官任命  
六日左の如く任命

二名 あり	なり
任印刷局技師叙奏任官二等	西尾
任財務監督局事務官	叙奏任官四等
任勤務署財務官	叙奏任官四等
叙奏任官四等	新莊開
●金塊の輸送	平安北道雲山金礦より

取せる金十二個（銀）三十萬圓（此程同）  
 仁川第一銀行支店に送致し來れるよ  
 うに最近の大國商船會社船にて若  
 附する客同金塊は大阪にて鑑定の上  
 するものなりと云ふ

地よ  
●仁川神宮渡御式  
仁川大神宮渡御  
同  
墓さへ未社として民會にて許可するのの  
と違  
さへ事未だ東國の舊風大  
造幣  
して舉行するも意支なきを確めたれば  
理事官の許可を出願せり

式は  
意同  
意々

△三野鷹精（鐵城歩兵第二十五旅團附）  
付中尉）山本旅館へ  
三中队中尉）鐵城旅館へ  
△小島清介（國）同

公人私入

卷之四



-311-

